

使

つかう

〔3年〕

8画
イ 仁 亻 亻 伊 使

〔なりたち〕

役人の意味の吏と人との会意字。役人は人をつかって仕事をするので、人をつかうことを表した。また、人を使うことが役人の仕事なので「仕事」の意味にも使われる。

使



〔いみとじゆく〕

▼つかう。用いる。
使役：①人や動物を使うこと。②文法で、他(に)何らかの行為をさせる意味をあらわす時のいい方。〔例〕使役動詞

行使：(与えられた権利・権力を)実際に用いること。〔例〕実力行使
酷使：ひどく使うこと。こきつかうこと。

▼つかい。つかわす。
使者：命令を受けて使いをする人。
使節：国や君主の命令を受けて、国の代表として外国に遣わされる人。〔例〕親善使節

大使：「特命全權大使」の略。最高位の外交使節。〔例〕大使館 (大使が駐在国で事務をとる公館。)

よみかた 使途・使用・駆使・公使・天使・特使・密使

既

すでに

〔はねる〕

10画
一 日 既 既 既 既

〔なりたち〕

旧字は既。食器に食べ物が盛りられた形の自と、そっぽを向いた形の先との会意字で、すでに食事が終わったことを表した字。広くすでに物事が終了したことを表す。

既



〔いみとじゆく〕

▼すでに。物事がおこってしまっている。
既成：ことがすでにできあがっていること。〔例〕既成の事実。

既製：注文で作るのではなく、すでに作られていること。
既知：すでにわかっていること。〔例〕既知
既未定：すでにきまっていること。〔例〕既未定

既往：すでに過ぎ去った時や事柄。〔例〕既往症 (以前にかかったことがある病気。)

既婚：すでに結婚していること。〔例〕既婚
既得：すでに得ていること。〔例〕既得権

▼つきる。すっかりなくなる。
皆既日食：太陽が月の陰にかかれて全く見えない現象。

よみかた 既刊・既決・既報

慨

おん かい

13画
一 冫 冫 慨 慨 慨

〔なりたち〕

既と心との会意形声字。すでに決定した事に対して心で「なげいたり、いきどおったりする」こと。「なげく」いきどおる「こと」。

慨



〔いみとじゆく〕

▼なげく。いきどおる。
慨嘆：うれい、なげくこと。
用例 犯罪の増加を慨嘆する。

憤慨：ひどく腹を立てること。感慨：物事に感じて、しみじみとした気持ちになること。

例 感慨無量 (感慨にひたつて、何ともいえない気持ちになること。)

概

おん がい

14画
一 一 概 概 概 概

〔なりたち〕

木と既との形声字。ますで米などの量を計るとき上に盛り上がった部分をかき落とす平らにならすための棒(とかき)を表した字。「とかき」。転じて、「おおよそ・あらまし」の意味に使う。「おおむね」。



慨

よみかた 概括・概観・概数・概略・概論

▼おもむき。様子。
概観：困難などに負けないという強い意気。〔例〕組織をしっかりと立つ概観。

大概：だいたい。多分。
一概：みなひとまとめにする。〔例〕一概には言えない。